



ももりんMIMだより

小諸養護学校
センター的機能係
平成31年3月1日
No. 12

今年度も残り少なくなりました。3学期に入ってぐんぐん力をつけている学級がいくつもあり、「同期平均にようやく近づいてきた」と喜んでいます。3月は1年間のまとめが忙しい時期ですが、「読み」についても、しっかり力をつけて1年間を終わりたいですね。

MIMのアセスメントは ぜひ4月から実施を

いくつかの学校の先生に、「アセスメントは4月からできるので、ぜひ」とお伝えしたところ、「え?まだ、ひらがなを全部習っていないのに?」と質問されました。確かに、まだひらがなは全部習っていないのですが、入学時点で多くのお子さんはひらがながだいぶ読めています。一方でほとんどひらがなが読めない状態で入学してくるお子さんもいます。4月からアセスメントを実施することによって、そういった状況を把握することもできます。又、まだ学習に慣れていないお子さんたちなので、1回目のアセスメントのあとで、「プリントじゃんじゃん(この時期はアセスメントのやり方を習う取り組み)」をして、アセスメントのやり方を分かってもらいと、2回目の5月のアセスメントからは、正確な状況を把握することができます。



実は3学期になってからアセスメントを実施した学級がいくつかありました。担任の先生方からは、それほど読みや学習に困っているという事前情報はなかったのですが、アセスメントの結果は3rdのお子さんが思った以上に多く、クラスの半分を超えていることもありました。支援は思った時がスタートなので、今この段階の子どもたちの状況を知ることができてよかったのですが、もう少し早く取り組んでいたら、もっと早くに読む力をつけることができたかもしれないと思ってしまいました。

というわけで、新年度MIMを取り入れたいとお考えの学校は、ぜひ4月からのアセスメントを計画に入れて下さい。4月のアセスメントの実施サポートも行います。申請前に4月分のみお受けすることも可能ですので、小諸養護学校までご連絡下さい。

MIMの効果は?うれしい報告をたくさんいただきました

MIMによる読みの指導の効果については、すでに様々な先行する取り組みから明らかになっていきます(詳しくは海津亜希子・杉本陽子著「多層指導モデル MIM アセスメントと連動した効果的な「読み」の指導: つまづきのある「読み」を流暢に」2016やMIMのホームページの論文をお読みください)が、今年度取り組んだ佐久地域の学級ではどうだったでしょうか。担任の先生や一緒に取り組んでいる先生からのエピソードとしては、「話が聞けるようになった」「読むことに力を入れてきたはずなのに、書けるようになってきて、作文も書けるようになった」「発想が豊かになった」「教科書の単元の前の方までさかのぼって読みながら学習を深めることができるようになってきた」といったことをお聞

きすることができました。また、CRTの結果もよくなったという学校もありました。すべてMIMの効果・・・とは言えないと思いますが、MIMの得点が上がることと、読解力の得点上がることは相関があるそうなので、全く関係がないとも言えないと思います。何より、実際に取り組んできた先生方に「効果があった」という実感があることがとてもありがたいです。また、先行している地域の先生方のお話をお聞きする中で、「やらされているMIM」ではなくて、先生方が「主体的に取り組むMIM」の方が、同じMIMに取り組んでも効果が違うということがありました。そういう意味でも、「効果があったから、また取り組みたい」と思われている先生方のクラスは、またさらに伸びていくのではないかと思います。

言葉の学習は習熟が大切

MIMの2本柱は、早期把握を可能にするアセスメントと効果的な指導法です。その上で、正しい読みのルールを身につけていくためには、習熟が大切です。習熟することで、「正しく」そして「流暢に」読むことができるようになります。そこで、様々な場面でいろいろなアプローチで子どもたちが読みのルールを身につけていくように学習を積み重ねていくことになります。



B小学校の2年生は、週1回「プリントじゃんじゃん」で1分間時間を測って取り組み、そのほかにも宿題で読みの力がつくようなプリントに取り組んでいます。時々、実施後のアセスメントの問題を宿題で出すこともあるそうです。特にどのように取り組もうということは決めていないそうですが、おうちの方に協力していただいて、時間を測って取り組むお子さんがたくさんいるそうです。その時には1分間でいくつとか、全部解くのに何分何秒かかったといった測り方をしています。この学級の2月下旬の平均点は46.0点ですので、力をつけてきた子どもたちだからこその学習方法と言えるかもしれません。宿題や授業のちょっとした時間に取り組むのにおすすめの教材なども紹介しています。お問い合わせください。

MIMは低学年だけのもの ではありません

今年度小諸養護学校では、低学年のうちにしっかり読む力をつけてほしいということで1、2年生を対象にMIMの取り組みを実施しました。しかし、読む力はどの学年においても大切な力です。3年生以上についても練習と本番の2回実施のスクリーニング的に実施することが可能です。各学年の1学期の基準点と比較することができます。学年が始まった1学期のうちにアセスメントを実施することで、基礎的な学力を把握することは、子どもたちのニーズをつかむ上でも有効です。ぜひ、ご活用ください。

<編集後記>

1年間MIMを通して、たくさんのクラスと関わらせていただきました。担任の先生方には、新しい取り組みを養護学校と一緒にやるということでもいろいろ大変な面も多かったと思います。また、校内の管理職の先生方や特コの先生などにも協力していただくことができ、とてもありがたかったです。私たちもMIMを通して、校内での支援体制について考えることができました。一年間の取り組みを通して、MIMに取り組むことで大変な面もありますが、確かに読みの力がつき、学力としても向上してくるという実感をもつことができました。一年間一緒に取り組ませていただきありがとうございました。

新年度も継続してMIMの支援を行います。よろしくをお願いします。